

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.136

2017.2.6

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

—1月22日は感動と交流・学習と行動の一日でした—

感動と「絶対戦争はさせない！」という思いを新たに

～平和憲法・9条を守る岩手の会「学習・活動交流会」110名が参加～

はじめに、CDコンサートを実施。演出・構成・語りの前川慧一さん（宮古市）は、戦争と平和・愛と人生をテーマにコンサートに取り組んでおられ、朗読と名曲を織り交ぜながら、各地で戦争の悲惨さや平和への大切さを訴えています。

兵士の士気が下がるなどの理由で販売中止になった「湖畔の宿」や、「ベートーベン交響曲第5番『運命』」をある特攻隊員が出撃前夜に自分を鼓舞するために聴いていたという話、行方不明の息子の名を叫ぶ母の心情を歌った「岸壁の母」など、戦



争に向かっていった情勢や当時の状況も踏まえた前川さんの語りとともに、曲が流れていきました。

当日は各地域の9条の会メンバーも、朗読者として参加しました。中国で無抵抗の民間人への残虐行為を語る元兵士の証言や、処刑直前に子への思いを綴った女性革命家の手紙、母に宛てた特攻隊員の遺書などを、それぞれが思いを込めて朗読。会場内では涙ぐむ姿もあり、「すばらしかった。戦争を知らない世代にも深く染み入った」「戦時中受ける授業に疑問を持ったことはなかったが、戦争の根本を知り猛烈に腹



が立った」「母を子を思う言葉は胸に迫るものがあった。絶対に戦争などさせない」など、会場から感動したという感想が多く出されました。

また、松園9条の会、平泉・9条の会からの活動報告も実施。集会や学習会、定期的なニュースの発行、継続した署名活動やスタンディング行動などで地域でのアピールを続けてきたことなどが報告され、参加者のみなさんは、地域の9条の会の取り組みに自分たちもがんばろうという思いを新たに、午後の平和のつどいへと流れていきました。 <つどいの記事は裏面へ>

～ピースキャンパスで

「アーサー・ビナードさんのお話を聞こう」開催～

真実を見極めるレンズを持とう！



1月8日、ピースキャンパス（事務局・いわて生協）主催の講演会を、参加210名で開催。アーサー・ビナードさんは、アメリカ生まれの日本在住の詩人で、九条の会会員。宮沢賢治にも造詣が深く、当日は歴史の話から物理、福島原発事故や第五福竜丸の話まで多岐にわたりました。

第五福竜丸の絵本を出しているビナードさんは、原発を動かすことで出るプルトニウムが日本とアメリカの核武装のための原料になっていると指摘。「核兵器を持つことは平和を保つ抑止力にならない、幻想」「真実を見極めるレンズを持とう」という話に、参加者からは「自分が常日頃おかしいと思っていることをユーモアを交えながら語ってもらってよかった」「本質を見抜く力を養うことが大事と感じた」などの感想が出されました。

市民共闘と新しい署名運動の取り組みなどを確認

～ 戦争させない・9条壊すな！岩手の会

「1・22 平和のつどい」400名の参加 ～



講演では、国際ジャーナリスト伊藤千尋さんが、南米チリでは17の野党が民主主義回復の一点で団結し、軍事独裁からの民主化を実現したことを紹介。「日本でも東北5県の参院選一人区や、新潟県知事選で野党統一候補が勝利した。安倍政権に対抗する手段は、まだまだある」と400名の参加者に呼びかけました。参加者からは、「私たちのやっていることは間違っていない」「1割の人々を巻き込めばなんとかなる、という話に元気が出た」などの声が聞かれ、つどい後は盛岡市内をデモ行進で市民に訴えました。

また、つどいでは、戦争させない・9条壊すな！岩手の会独自の「安保法制廃止、自衛隊新任務の撤回、憲法9条を守りいかけた平和貢献を求める請願」署名や、「沖縄県民の民意尊重と、米軍基地の押し付け撤回を求める全国統一署名」の運動などの取り組みも確認されました。

新しい署名をもとに、「安保法制廃止」「南スーダン PKO 新任務撤回」「9条を守りいかす」実現に向け、協同の力で取り組んでいきましょう！



お知らせ

《「戦争させない・9条壊すな！岩手の会」協賛金に、ご協力ください》

集会や署名作成費用など、協賛金として1口1,000円、規模の大きな団体は複数での協力をお願いします。地域9条の会など地域の団体には、協賛金1,000円につき2色刷り署名50枚を差し上げます。追加での用紙は、1枚3円(2色刷り)になります。規模が大きい団体はデータを差し上げますので、独自で印刷をお願いします。

コラム

これが首脳会談！？ 首脳会議！？ 皆さんはどう思いますか (その2)

昨年末の安倍・オバマ首脳会談については、新年に考えることにしていました。

確かに安倍首相とオバマ大統領の首脳会談がハワイ・真珠湾で持たれましたが、その内容は「日米同盟の維持、強化」で合意したと、呆れる内容。「軍事同盟」の話では日本国民のためにならないし、世界諸国民のためにもならないのではないのでしょうか。加えて、12月8日旧日本軍の奇襲攻撃による戦死米兵などへの「慰霊」については、早速「米側に対してだけ慰霊か」と異論が世界各国からまで出る状態。それはそうだと思います。なんと言っても、第2次大戦は日本が世界に向けて起こした「戦争」だったわけですから。

明けて新年。「日米同盟は東アジアの平和と安定に必要である」と言って、安倍首相は東アジア4カ国を歴訪。その中でなんとフィリピンに「1兆円の支援」を言い出すなど。しかし、ドゥテルテ大統領は笑顔にはならず。その「お金」は、どこからでるのでしょうか。呆れます。そして、正式に就任したばかりのトランプ米大統領と早期に「首脳会談」を持ちたいとあせる。彼は「アメリカ第一」を掲げる「大統領」！仕事始めに言明していたとおり、「TPP」からの離脱表明なども！

安倍首相！そんなに急いでどこへ行く、何を？すべきことは「日米同盟第一」ではなく、日本国憲法に定めたとおり「戦争の惨禍を再び起こさない」、「日本国民の幸福」、対外的には「平和、平等・互惠、友好」ではないではないのでしょうか！トランプ大統領の「一般教書」演説を見てからでも、遅くはありません。繰り返しますが、日本国民はもはや安倍首相の言動を1ミリでも許さない。日本国民は、安倍政権を退陣させる「政局」を必ず作るであります。 (T)

今月の署名行動

2月街頭署名行動は、9日(木) 12:15~12:45「野村證券前」です。
戦争させない・9条壊すな！岩手の会の新署名に、気持ちも新たにに取り組んで行きましょう！